

茨城の國語教育

第十九号

目次

教材としての辞書	鈴木 裕也	1
中等国語科教育課程における漢詩文と和歌の教材の提案 —— 釈辨正と山上憶良の同一テーマの作品を中心に——	李 満紅	14
魯迅「故郷」の寂寥の正体 —— 目連戯の影響を中心に——	宮崎 尚子	20
間接体験・直接体験と言語経験	鈴木 一史	31
読者の創造的行為としての解釈 —— 文学的文章を読むことの指導における 意識改革のための一提言——	昌子 佳広	40
筆順の学習指導に関する研究 —— 小学校五年生を対象にした筆順調査をもとにして——	齋木 久美 飛知和明歩	50

編集後記

本年度から茨城国語教育学会事務局の茨城大学国語教育教室に新しいメンバーが加わりました。巻頭論文を執筆された鈴木裕也先生です。昨年度まで特任教授として在籍していた川嶋秀之先生の後任として、国語学の研究をされておられ、大学でもその知見をもとに学生の教育にあたられています。巻末論文は本学会会長齋木久美先生の論考ですが、こちらは卒業生とともに実践研究された論文です。今回も幅広い論文を掲載することができ、ほっとしております。このように、本学会誌は卒業生をはじめとした会員皆様の論文発表の場であり、茨城の国語教育の発展に寄与することを目指しております。論文投稿をご希望の方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。

(鈴木K)

茨城の国語教育 第十九号

令和六年三月三十一日 発行

編集兼
発行

茨城国語教育学会

代表 齋木久美

〒310-8512 水戸市文京二ノ一

茨城大学教育学部国語教育教室

電話 〇二九一三二八八二二三